

研究に関するお知らせ

研究の名称：重症心身障害児施設における「呼吸器感染症予防と倫理擁護のための戦略 PRIME Strategy」の有効性と費用効果

独立行政法人国立病院機構天竜病院では、職員の高山直樹(国立研究開発法人国立国際医療研究センター国立看護大学校研究課程部後期課程〔博士課程〕修了生)が、以下にご説明する研究を行います。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記の問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。ただし、すでに分析が終了していたり論文等で成果を発表していたりした場合、不参加とすることはできません。

■研究目的・方法

重症心身障害児(者)病棟で呼吸器感染症が院内で流行すると、患者様の行動を制限したり療育活動を中止したりしなければなりません。そのため、当院重症心身障害児(者)病棟では2018年4月に「呼吸器感染症予防と倫理擁護のための戦略 Preventing respiratory infections and maintaining ethics strategy(PRIME Strategy)」を開始しました。

本研究の目的は、導入した対策の有効性と費用効果を明らかにすることです。

研究方法は、「PRIME Strategy」の導入前後における呼吸器感染症発症率や、療育活動の全面中止日数等を比較します。

2017年9月1日から2018年3月31日と2018年9月1日から2019年3月31日の期間に当院重症心身障害児(者)病棟(1、2病棟)に在院していた患者様の診療録調査を行います。対象の方やご家族に新たに何かを行っていただいたり、直接お尋ねしたりすることはありません。

■研究期間

2019年度倫理委員会承認日～2025年3月31日

■研究の対象となる方

2017年9月～2018年3月に当院の重症心身障害児(者)病棟(1、2病棟)に入院していた方

2018年9月～2019年3月に当院の重症心身障害児(者)病棟(1、2病棟)に入院していた方

■研究に用いる試料・情報の種類

病歴、検査結果、体温、呼吸器症状、療育実施状況、カルテ番号、性別、生年月日等、診療録等に記録された情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、倫理指針に則って個人情報等を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

■研究計画書等の入手・閲覧方法・手続き等

ご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の開示に係る手続きについて

本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧いただくことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■個人情報の取り扱い

研究であなたの個人情報が外部に漏れないよう厳重に管理します。本研究計画は、国立国際医療研究センターおよび当院の倫理審査委員会の承認を得ています。

(承認番号 NCGM-S-003279-01、2019-7)

■研究成果の公表

本研究で得られた成果は、研究者高山直樹の博士学位論文として纏め、関連学会での発表および論文発表します。発表の際には個人が特定されないように配慮します。

■利益相反について

本研究において、申告すべき利益相反はありません。また、本研究は、2019年度科学研究費助成事業(基盤研究B){「医療関連サーベイランスを活用した感染防止ケアの有効性と経済性」(西岡みどり)}JSPS科研費JP18H03079の研究資金により実施します。

■研究体制

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国立看護大学校研究課程部

西岡みどり(教授/指導教員) 網中真由美(講師/副指導教員)

独立行政法人国立病院機構天竜病院

高山直樹(感染対策室/研究分担者/国立看護大学校研究課程部修了生)

白井正浩(副院長/研究協力者) 豊田敦(小児科医長/研究協力者)

国際医療福祉大学大学院医学福祉学研究所保健医療学専攻看護学分野

遠藤英子(特任教授/研究分担者)、坂木晴世(准教授/研究分担者)

■問い合わせ先

独立行政法人国立病院機構天竜病院 感染対策室 高山直樹

〒434-8511 静岡県浜松市浜北区於呂4201-2

電話番号: 053-583-3111 (代表) メール: takayaman@d17.ncn.ac.jp

受付日時: 平日8:30-17:15 ※メールの場合は終日可